

いっしょに始めましょう!

サポート・ノート

しとねる

つなぐ

お子さんのライフステージに沿って、保護者の方と、子育て総合支援センター、保健センター、幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校が連携し、情報を共有し、お子さんの成長を促します。

つむぐ

お子さんにかかわる者・機関が適切な役割分担と連携のもとに、保護者の方といっしょに、お子さんを考え、糸を紡ぐように力強い体制を築く資料とします。

しとねる

「人(しと)と人の間で練(ねる)られ、人となる」と言うように、あたたかく豊かな人間関係の中でお子さんをしとねて(子どもを育てて)いきます。

常滑市は、「世界に開かれた生活文化都市」を目指しています。

サポート・ノート『しとねる』は、常滑市の保護者の方の子育てを応援するためのツールです。

ツールは使う人たちの協力・連携次第でそのかがやきを増すものです。このサポート・ノート『しとねる』が子どもを育み、見守り、支援する人々を「つなぎ、つむぐ」ツールになると期待しています。

「子どもを大切にする」から「子どもを徹底的に大切にする」市へ。

みんなで「つなぎ」、みんなで「つむぐ」。

子どもの未来に向けて、ともに進みましょう。



常滑市
常滑市教育委員会

ひとねるQ&A

Q 「サポート・ノート」とは何ですか？

A サポート・ノート「しとねる」は、お子さんにかかわる様々な支援者(保育・教育、保健、医療、福祉、労働等の関係機関の関係者)が保護者と、お子さんの実態や支援の目標・内容等の情報を共有し、適切な役割分担などについて、いっしょに計画を作成することにより、よりよい支援をめざす個別の支援計画です。

Q 「しとねる」を作成するメリットは?

- A ①生まれてから社会自立まで継続的に支援をつなぐことができます。
②保護者と支援者が同じ歩調で支援を行うことができます。
③担当者が替わってもスムーズに引き継ぎができます。
(担任の先生が替わるたびに一から説明する必要がなくなります。)



作成・活用

- 1 (お子さんの氏名:
※「しとねる」の内容は、個人情報なので、
たりすることはしません。

2 「しとねる」を作成するために、関係諸機関から
ることに同意します。
※収集する情報の内容は「しとねる」の作成
※相談活動等で必要な場合は、「しとねる」
ります。提供する関係諸機関の範囲は、お

情報収集の際に除外してほしい事項
(ある場合のみ具体的に記入してください。なし)

情報提供の際に除外してほしい事項
(ある場合のみ具体的に記入してください。)

3 転園、転学、進学等の際にには、「しとねる」
※他市町村への転園、転学、中学校
「しとねる」を保護者にお返し

【 プロフィール 】		生年月日
ふりがな		性別
氏名		年 月
住所	〒 -	連絡先 Tel (続柄:) ()
	① 自宅 Tel ()	年 月
	② 自宅 Tel ()	連絡先 Tel (続柄:) ()
	③ 自宅 Tel ()	年 月
連絡先 Tel (続柄:) ()		
* 続柄は本		
姓 名	家 族 構 成	氏 名
続柄	配偶者	続柄
生 育 歴		
妊娠中の異常 () なし () あり		
在胎週数 () 週 出生時体重 () g		
分娩時の異常 () なし () あり . . . () 帝王切開 () 吸引分娩 ()		
出産の状況 その他 []		
首のすわり () 歳 () か月頃 現返り () 首		
おすわり () 歳 () か月頃 すり返い () 首		
はいはい () 歳 () か月頃 つかまり歩行 () 首		
手つき歩行 () 歳 () か月頃 歩行 () 首		
人見知り () 歳 () か月頃		
泣き声でない声を出す () 歳 () か月頃		
意味のある言葉を話す () 歳 () か月頃		
排泄の完了 () 歳 () か月頃 亂乳の完了 ()		
発達の経過 その他 []		
特記事項		

（　）年度	
<p>（家族・親戚）</p> <p>（今年度かかわる保育士・先生）</p> <p>（医療・相談・保健・福祉関係）</p>	
<p>良いところ・得意なこと</p> <p>興味があること</p>	
<p>（遊びや運動の様子）</p> <p>（人のかかわりや集団での様子）</p>	
<p>（食事・着替え・排泄など生活の様子）</p>	
<p>家庭で気になること</p>	<p>園で気になること</p>



Q 個人情報の取扱については?

- A 保護者の了解なしに、他の人に見せたり、渡したりすることはありません。
個人情報については、責任をもって守ります。

Q 「しとねる」は誰が保管しますか?

- A 入園前は保護者が保管します。入園後は、幼稚園・保育園・こども園、小学校、中学校が保管します。中学校を卒業するときは、保護者にお返しします。保護者の判断で進路先や就職先で活用することができます。

Q いつ記入しますか？

- A 保護者と支援者(担当者・担任)が、「しとねる」を見ながらお子さんについて相談する機会を設け、記入します。



ひとりで悩まないで…

お子さんとかかわる中で、「うちの子だけなのかな?」「どうして、いつもこうなの?」……など、気になったら、少し話してみませんか?“子育て”は“孤育て”ではありません。地域の中で、お互いに助け合いながら育まれていくものです。子どもは皆成長する力を持っています。中には、生まれつき人とのかかわり方が苦手で、少し工夫することで生活しやすくなるお子さんもいます。保護者や周りの方が気になっていることは、実はお子さん自身も困っていることかもしれません。

たとえば、こんな様子はありませんか?

- 言葉が増えない。聞こえた言葉をそのまま繰り返すことが多い。
- 人へのかかわり方が一方的である。
- 視線が合わない。
- 名前を呼んでも振り向かない。
- 水や光など、特定のものへのこだわりが強い。
- 痛みや熱さに鈍感であったり、あるいは敏感であったりする。
- 普段どおりの生活習慣や道順などの変化に抵抗がある。
- 手をひらひらさせる、ぐるぐる回るなど反復的な行動が目立つ。
- 偏食があり、食べ物のレパートリーが極端に狭い。
- 押したり、噛み付いたりなど、人に危害を加える。
- 同じ質問をしつこくする。
- 場所によって、全くしゃべらない。
- ふざけてしまうと、話が聞けない。
- マイペースで周囲を意識しない。
- 高い所に登って手を離すなど、危険が分からない。
- ごそごそ、そわそわして、じっとしていられない。
- 表情が乏しい。または、感情の起伏が激しい。
- 頭を壁に打ち付ける、手を噛むなど、自分が傷つくことをする。



気付いたときがチャンスです。そのときに適切な支援や相談を受けることで、よりよい発達へと導くことができます。

お子さんが自信をもち、保護者の方も子育てが楽しくなるように、一人で悩まないでご相談ください。